

東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター

研究年報 第9号 (2012)

平成 23 年度の研究活動について	安藤 清志	1
犯罪報道における被疑者および被害者の実名とプライバシーの取り扱い —明治期から現代までの変遷と問題点に関する実証的研究—	島崎 哲彦 大谷奈緒子 小川祐喜子 伊達 康博 柳瀬 公 福田 朋実 赤尾 光史 四方 由美 川上 孝之	3
首都圏大学生の防災意識と防災行動 —東北地方太平洋沖地震発生前後での変化の検討—	清水 裕	17
高齢者の自伝的記憶の機能とメンタルヘルスとの関連について	小口 孝司 竹田葉留美 落合 勉	25
薬害事件における加害・被害関係と社会 イレッサ薬害事件の場合 第2報 イレッサ薬害訴訟における国の責任 —初期の情報と対応について	片平 洵彦	31
犯罪被害者の苦悩と怒り	細井 洋子	41
二分法的な理解と柔軟な理解 —他者理解の発達—	久保ゆかり	79
大学と大学生の地震防災対策 —東日本大震災を挟んだ調査から—	大島 尚 谷口 尚子	83

第三者の不注意が犯罪者への非難に及ぼす影響 —Cricher & Pizarro (2008) の概念的追試—	菅 さやか 下田 俊介	99
大学生の防災・支援意識 —東北地方太平洋沖地震後の行動—	市村 美帆 下田 俊介 柳瀬 公 白井 美穂	103
死刑を適用あるいは回避する判決文の可視化 —事例 EVIL と事例 BAD の統合—	白井 美穂	107
リスク社会とメディア	柳瀬 公	113
他者よりも優れている状況の心地よさと宥和、回避行動意図 —他者との関係性および遂行領域の他者関与度からの検討—	下田 俊介	121
講演会 ファンダー教授講演会「パーソナリティ判断の正確性」	堀毛 一也	133
共同セミナー 第2回東洋大学 HIRC21-翰林大学応用心理研究所共同セミナー報告	安藤 清志	141
2011 年度活動記録		143